第二講　掛詞／様々な修辞技法（「隠し題」など）

1　掛詞

同音に二つ以上の意味をもたせる。

〈例題１〉　次の文章は、主人公・中納言が、母（＝上）の病気治療のため、有馬温泉に湯治に行くことを決意する場面である。Aの和歌には掛詞が一か所用いられている。何と何が掛けられているか説明せよ。

上の御心地、悩ましげに見え給へり。「かかるには、(注)有馬の湯浴み給ふなん、よろしう侍る」と聞ゆる人ありければ、…〈中略〉…中納言殿は、例の心に任せぬ御身にひきかけ給ひて、かかる所にだに、(注)笹の庵もひき結ばまほしう思すに、いとど、

A　かくてのみいつまでか世に有馬山(注)猪名(いな)の笹原いなと思へど

注　有馬――今の兵庫県神戸市にある地名および山名。今も温泉で有名。
笹の庵もひき結ばまほしう思す――「出家（＝世を捨てて仏門に入る）願望がある」ということ。
猪名――今の兵庫県川辺郡と大阪府豊能郡にまたがる地の古名。有馬山とはやや離れているが、古来良く結びつけられる。

ポイント①「　　　　」に多い！
本文中やリード文、注釈に出てきた「　　　　」が和歌中にあれば、そこが掛詞になっている可能性が高い。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問1　次の文章は、失恋をし、傷心の思いで、都から浜名湖のあたりまで旅をした時の記録です。ａの歌の掛詞を指摘し、何と何が掛っているか具体的に説明しなさい。

注1 この国になりては、大きなる川いと多し。注2 鳴海（なるみ）の浦の潮干潟（しほひがた）、…〈中略〉…人知れぬ心の中のみさまざま苦しくて、

ａ　これやさは　いかに鳴海（なるみ）の　浦なれば　思ふかたには　遠（とほ）ざかるらむ

注　１　この国……尾張（をはり）の国（現在の愛知県西部）
　　２　鳴海（なるみ）の浦……現在の名古屋市緑区の海岸で、古来、干潟や浜千鳥で有名な歌枕。

問2　傍線の和歌の中で、掛詞として用いられている単語を後のＡ～Ｅの中から一つ選べ。

とある返し、
　世の憂きを思ひながすの浜ならばわれさへともにゆくべきものを
　憂きことよいかで聞かじと祓（はら）へつつ違（ちが）へながすの浜ぞいざかし
とて、いにけり。いきつきて、長洲の浜にいでて、網引かせなど、遊びけるに、…〈以下略〉

注　違へ……災いを人形に託す。

Ａ　思ひ　　Ｂ　ながす　　Ｃ　浜　　Ｄ　われ　　Ｅ　とも

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈例題２〉 次の本文中の（Ⅰ）の和歌の中に「鳴く・泣く」以外に掛詞が二つ用いられている。指摘して説明せよ。

（「必ず帰ってくる」と言って唐に渡った息子のことなど）思ふこと少なくてあらぬ身のみ心憂く、何とも聞こえぬ虫の、草むらに思ひ思ひの声なる、あはれに、*嵯峨野（さがの）などに鳴き乱るらん、思ひやられて、

（Ⅰ）　誰をとも分かず鳴くらんまつ虫の我が身のさがの音（ね）に*ぞ通ふる

枕のいたく濡れたれば…〈以下略〉

*嵯峨野…京都市右京区嵯峨の一帯。秋草・虫の名所。
*ぞ通ふる…破格の用法で、「ぞ通ふ」とあるべきところ。「音にぞ通ふる」は「泣き声に似通う」という意味。

ポイント②　「不自然な　　　」の部分に注目！

＊「**地名**」は漢字のままも多いので注意。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　次の和歌に用いられている掛詞について説明しなさい。

まづぞ思ふ都の秋の月見ても君すむ宿の松風の声

★頻出例

〔地名〕

- ●あかし＝明石／明かし（明るい）　●あふ（さか）＝逢坂／逢ふ
- ●あふみ＝近江／逢ふ身　●いく（の）＝生野／行く
- ●いなば＝因幡／往なば　●すみ（よし）＝住吉／住み良し／澄み
- ●する（が）＝駿河／する　●たつ（たやま）＝竜田山／立つ

〔その他〕

- ●あき＝秋／飽き　●あま＝天／海人／尼　●うき＝浮き／憂き／泥(うき)
- ●かれ＝枯れ／離れ　●すむ＝住む／澄む　●ながめ＝長雨／眺め
- ●なぎさ＝渚／無き　●ひ＝火／思ひ／恋ひ　●ふみ＝文／踏み
- ●まつ＝松／待つ　●おく＝起く／置く（＊「露を**置く**」＝露が発生する）
- ●みをつくし＝澪標（船の水路を示す杭）／身を尽くし
- ●ふる＝降る／経る（年月が経つ・生きていく）／振る／古る（古びる・年をとる・昔なじみ）

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈例題３〉　次の傍線部の和歌に用いられている掛詞について説明しなさい。

女、「宵ごとに　帰しはすとも　いかでなほ　あかつき起きを　君にせさせじ
苦しかりけり」とあれば、
「朝露の　おくる思ひに　くらぶれば　ただに帰らむ　宵はまされり」とあり。

ポイント③　「文章中のキーワード」の再現！

まとめ　【掛詞の見つけ方】
ポイント①　「地名」に多い！
ポイント②　「不自然な平仮名」の部分に注目！
ポイント③　「文章中のキーワード」の再現！
※　本文やリード文、注釈にも気をつける。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問4　次の本文中の和歌には掛詞が用いられている。それを指摘して説明せよ。

日ごろ牛を失ひて求めわづらひけるほどに、絶え絶えになりにける女の家に、この牛入りてはべりければ、女の許より引かせて、「うしと見し心にはまさりはべりけれ」と言ひおこせてはべりける返り事に

かずならぬ　人を野飼ひの　心には　うしとももの　を　思はざらなむ

祭主輔親

問5　「尋ぬべき人もなぎさの住の江にたれまつ風の絶えず吹くらん」の和歌から掛詞を三つ指摘せよ。

問6　次の傍線部は掛詞として二つの意味が兼ねられています。その意味を示す言葉をそれぞれ漢字一字で答えなさい。

ただの紙の、いと白うきよげなるに、よき筆、白き色紙、陸奥紙などえつれば、こよなうなぐさみて…〈中略〉…、

「かけまくもかしこきかみのしるしには鶴のよはひとなりぬべきかな」

© RECRUIT

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問7　「袖濡らす嘆きのもとを来て訪へば過ぎにし春の梅の下風」の和歌の中で掛詞の技法が使われている句はどれか。最も適当なものを選べ。

ア　初句　　イ　二句　　ウ　三句　　エ　四句　　オ　五句

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

２　様々な修辞技法

①本歌取り…有名な古歌の一部をそのまま利用すること。

（例）　み吉野の山の秋風さ夜ふけてふるさと寒く衣うつなり　『新古今和歌集』　参議雅経

み吉野の山の白雪つもるらしふるさと寒くなりまさるなり　『古今和歌集』　坂上是則

②隠し題（物名(もののな)）…和歌の中に、**地名や題名を隠して詠む**こと。

〈見つけ方〉

直前に「○○を詠め」「○○を題に…」などがあり、和歌中にその「○○」があった場合。

※濁点をはずして、全て平仮名で考えること。

問１　次の和歌Ａの中から隠し題の部分を抜き出せ。

さて、「日根といふことを歌によめ」とおほせごとありければ、この良利大徳、

Ａ　ふるさとのたびねの夢に見えつるはうらみやすらむまたととはねば

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問2　次の和歌の中から隠し題の部分を抜き出せ。

御門のひちりきを詠ませられけるに
めぐりくる春々ごとに桜花いくたび散りき人に問はばや

③**折り句…各句の初めの一字をつなげると、ある言葉になる**もの。（「隠し題」のひとつ）

（例）唐衣(から)　**きつつなれにし　つましあれば　はるばるきぬる**　旅(たび)をしぞ思ふ
「かきつはた」→「かきつばた」

④**沓冠(くつかうぶり)…各句の初めの一字を初句→五句へと読み、次に各句の最後の一字を五句→初句へとさかのぼって読む**（もしくは初句→五句へ読む）**と、あるメッセージになる**もの（「くつかぶり」「くつかむり」とも）。

（例）夜(よ)も涼(すず)し　寝覚(ねざ)めのかりほ　手枕(たまくら)も　真袖(まそで)も秋(あき)に　へだて無(な)き風(かぜ)

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　次の和歌は右〔＝④〕の（例）の和歌の返事である。右のメッセージに対する返答はどのようなものか。

夜も憂しねたく我が背子(せこ)果ては来ずなほざりにだにしばしとひませ

⑤**体言止め**…最後が体言で終わっている和歌。

（例）　寂しさに堪へたる人のまたもあれな庵並べむ冬の山里

⑥**見立て**…現実にあるものを別のものにたとえて表現すること。

（例）　さくら花散りぬる風のなごりには水なき空に浪ぞたちける

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　復習問題

① 「うしみつ」は「丑三つ」と「憂し見つ」の、「ね」は「子」と「寝」の両方の意味を表している。このような和歌の技巧を何というか。最も適切なものを次の中から選べ。

ア　縁語　　イ　掛詞　　ウ　序詞　　エ　対句　　オ　枕詞

② 「もろともにながめし人もわれもなき宿には月やひとりすむらん」の和歌の中で用いられている掛詞を漢字で書いた組合せとして、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　「眺め」と「長雨」　　イ　「無き」と「渚」
ウ　「一人」と「火取り」　　エ　「住む」と「澄む」

③ 次の歌の中で使われている技法は何か。最も適当なものを後の中から選べ。

ませのうちなるしら菊も　うつろふみるこそあはれなれ
我らがかよひて見し人も　かくしつつこそかれにしか

ア　掛詞　　イ　枕詞　　ウ　本歌取り　　エ　沓冠

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　模範解答

1

〈例題１〉「世に有」の「有」と、「有馬山」の「有」が掛けられている。
〈例題２〉「まつ」が、「松虫」の「松」と「待つ」。「さが」が、「嵯峨野」の「嵯峨」と「性」。
〈例題３〉「おく」に、「(露を)置く」と「起くる」の「起く」が掛けられている。

問１「鳴海の浦」の「鳴海」に、「いかになる身」の「なる身」が掛けられている。
問２Ｂ
問３「すむ」が、「住む」と「澄む」の掛詞。
問４「うし」に、「憂し」と「牛」が掛けられている。
問５「渚」と「無き」／「住み」と「住の江」／「待つ」と「松」(順不同)
問６「紙」と「神」
問７イ

2

問１びね
問２び散りき
問３よねはなしぜにすこし(「米はなし　銭少し」)

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二講　解答解説

〔解説〕

①　一つの音に二つ以上の意味をもたせることを「掛詞」という。よって、正解はイ。

②　選択肢ア・イ・エが覚えておくべき「頻出例」の組合せで、ウも実際に掛詞になることがある組合せである。したがって、きちんと文脈判断をする必要がある。「一緒に眺めた人もいなくなり、私ももう通って住むことがない家に、今は澄んだ月が一人でその家に住んでいる（＝やどっている）のだろうか」という意味なので、「住む」と「澄む」のエが正解。「宿」・「月」に気づけたら、おそらくエだろうと予測もできたはず。

③　覚えておくべき「頻出例」の掛詞「かれ（「枯れ」と「離れ」）」がある。「しら菊」も「枯れ」、「人」も「離れ」でおかしくないので、アが正解。

〔解答〕

①　イ　　②　エ　　③　ア

© RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。